KTGH

医療法人豊田会

刈谷豊田総合病院

〒448-8505 刈谷市住吉町5丁目15番地
TEL.0566-21-2450　FAX.0566-22-2493

交通のご案内 JR東海道本線・名古屋鉄道三河線「刈谷駅」下車、南口より徒歩約15分
公共施設連絡バスをご利用いただけます

病　院　案　内

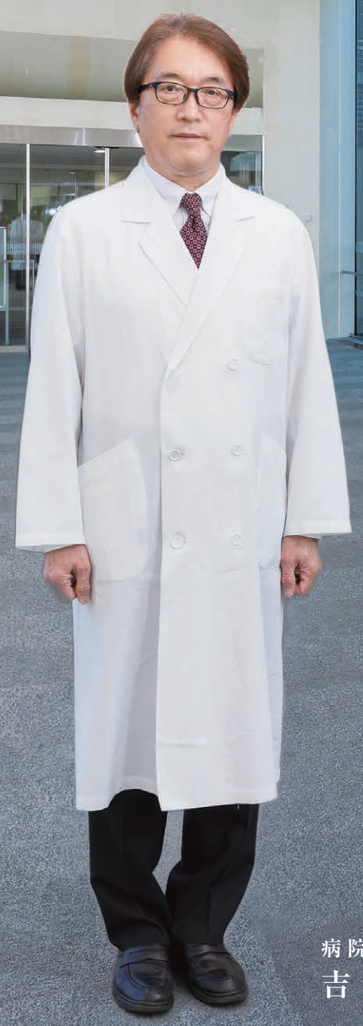
医療法人豊田会

刈谷豊田総合病院

KD広報-P12706（16）

地域の中核病院として「患者さん第一」の温かい思いをこめた安全で質の高い医療を提供します

当院は1963年に、保健・医療・福祉の分野での社会貢献をめざして医療法人豊田会により開院されました。現在では西三河南部西医療圏の中核病院として、地域医療支援病院、愛知県がん診療拠点病院、救命救急センター指定病院、災害拠点病院、DMAT指定医療機関などに認定されています。医療分野では特に救急医療などの急性期医療やがん治療などの専門医療に積極的に取り組んでいます。当院は、医師を含むそれぞれの分野に精通したスペシャリストによる多職種連携に基づくチーム医療を実践し、患者さんに最適な治療ができるよう努めています。
これからも「患者さん第一」の温かい思いをこめた安全で質の高い医療を提供してまいります。



病院長
吉田憲生

【豊田会理念】
保健・医療・福祉分野で社会に貢献します

【豊田会方針】
温かい思いをこめた、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します

病院方針

① 患者権利の尊重・患者第一主義
患者権利を尊重し、当院が定める倫理方針に基づき、常に患者・家族の立場に立ち、やさしさと思いやりと笑顔で、患者によりそう医療を提供します。

② 地域中核病院としての機能充実
地域中核病院として、機能充実のため医療体制の確保と高度医療機器を整備し、職員は医療人として高度急性期医療、救命救急医療、地域との連携に使命感をもって取り組みさらなる充実に努めます。

③ ICT技術の活用
積極的にICT技術を活用し、効率的かつ安心・安全で質の高い医療の提供に努めます。

④ 働きがいのある職場づくり・人材育成
地域の医療を支える人材の確保と、職員の主体性とチャレンジ精神を尊重した働きがいのある職場づくりと人材育成に努めます。

⑤ 研修医・専攻医の育成
臨床研修病院として、基本的な診療能力および高度な専門能力を有し、チーム医療の一員として安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践できる医師の育成に努めます。

⑥ 持続可能な医療提供
病院経営の健全化、戦略的病院経営により、持続可能な医療を提供します。

⑦ コンプライアンス（社会的責任を果たす）
職員一人一人が、法令や社会的規範を遵守して事業活動を実践し、医療の提供を通じて社会の発展に貢献します。

■ISO9001／ISO15189
ISO9001 ：2006年2月に認証取得、
2020年11月に認定返上、
品質管理の取り組みは継続
ISO14001 ：2000年2月に認証取得、
2007年12月に自己宣言に移行
ISO15189 ：2010年に認証取得

■日本医療機能評価機構
医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、問題点の改善を支援する第三者機関。当院は1998年6月に医療機能認定病院としての評価を受けています。

【病院概要】

施設名	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
所在地	愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地
開設年月日	1963年3月1日
運営母体	医療法人豊田会 刈谷市、高浜市ならびにトヨタグループ8社 [㈱豊田自動織機、愛知製鋼㈱、㈱ジェイテクト、トヨタ車体㈱、豊田通商㈱、㈱アイシン、㈱デンソー、トヨタ紡織㈱]
理事長	豊田 鐵郎
病院長	吉田 憲生

01 取り組み

多彩な医療ニーズに応えるために

がん治療の最前線

がん診療

県指定「がん診療拠点病院」としての責任を果たす

がん診療拠点病院として最先端のがん治療技術導入に努めています。がんに関わる全ての治療プロセスを地域内で完結できる手厚い医療連携体制の構築を目指します。

化学療法センター

患者さんの病状や生活に配慮した外来治療の推進

がんの3大治療の1つである化学療法を患者さんが安心かつ安全に受けられるように、最新設備のもと、各職種の専門のスタッフがチームで患者さんの治療に取り組んでいます。

がん診療機能

●がん総合診療センター（化学療法センター・疼痛緩和ケア科・緩和ケアチーム・がん相談支援センター）
●放射線治療　●緩和ケア病棟（20床）　●がん診療拠点病院としての活動（院内がん登録・研修会・相談会・がんサロン・セカンドオピニオン外来）

地域の中核病院としての役割を果たします

断らない救急

救急医療・災害医療

全診療科参加型の救急医療、万全の体制で臨む災害医療

西三河南部西医療圏における救命救急センター（三次救急医療機関）として、県下トップクラスの救急車受け入れ数を誇り、麻酔科を司令塔とした「全診療科参加型」の救命救急体制を整えています。災害拠点病院（地域中核災害医療センター）として、地域の救急隊（衣浦東部広域連合消防局）と連携した実践的な訓練と設備の拡充、医療チームの派遣などにも取り組み、災害に強い医療を目指しています。

救急医療機能

●救急外来（ウォークイン:3室、救急車対応室:6床、リカバリー:6床）
●夜間救急病床:9床
●救命救急センター（ICU:10床、救命救急病棟:16床）
●ドクターカー

災害医療機能

●災害拠点病院（地域中核災害医療センター）
●災害備蓄倉庫
●免震構造
●日本DMAT（災害派遣医療チーム）

「あなたらしく生きる」ために

緩和ケア

温かい思いを込めて からだと心のサポートに最善を尽くす

緩和ケア病棟では、患者さんを苦しめる痛みやその他の身体症状を緩和します。患者さんやご家族の思いを尊重しながら、その人らしい生活が送れるよう支援します。

24時間体制で命を守る

救命救急センター

西三河地域の基幹病院としての使命を全うする

愛知県指定の救命救急センターであり、より高度で専門的な入院治療が必要な患者さんを対象とした第三次救急医療施設として24時間体制で医療を提供しています。

救命救急センター機能

●救命救急センター（ICU:10床、救命救急病棟:16床）
・人工呼吸器治療
・血液浄化療法
・補助循環治療

いのちを繋ぐ医療

周産期医療・小児診療

産婦人科と小児科が連携する周産期母子医療センターで24時間体制のサポート

産婦人科医や助産師が他科の医師と協力し、妊娠・分娩を最善の状態で管理。小児科はハイリスク新生児に対して集中的な治療・管理を行うとともに、他院からの新生児搬送、救急や夜間診療の受け入れなど、24時間体制で地域の小児診療を支えます。

周産期医療機能
- ●新生児集中治療室（NICU） 3床
- ●新生児回復治療室（GCU） 6床

小児診療機能
- ●治療エリアと生活エリアを区別
- ●看護師は白衣ではなく専用ユニフォームを着用
- ●プレイルーム完備（保育士2名配置）

チームの力を生かす

チーム医療

スペシャリストが力を集結し最善の患者ケアに取り組む

医療技術の進展に伴い治療過程の複雑化が進む今、医師を含む多職種連携によるチーム医療が欠かせません。それぞれの分野に精通したスペシャリストが治療をサポートし、医療の質的向上に取り組んでいます。

主要チーム
- ●栄養サポートチーム
- ●褥瘡対策チーム
- ●認知症サポートチーム
- ●透析予防診療チーム
- ●摂食嚥下支援チーム
- ●呼吸ケアチーム
- ●緩和ケアチーム
- ●精神科リエゾンチーム
- ●排尿ケアチーム
- ●術後疼痛管理チーム
- ●DMATチーム
- ●臨床倫理コンサルテーションチーム
- ●抗菌薬適正使用支援チーム
- ●ICT（感染管理）ワーキンググループ
- ●SMT（医療安全）ワーキンググループ
- ●ACLS（2次救命処置）ワーキンググループ
- ●院内迅速対応チーム（RRT）

データを活用し、疾病予防、診断、治療までサポート体制を整えています

健やかな暮らしを支える

予防医療

健診センターの機能強化で早期発見・早期治療を促す

十分なスペースを確保し、アメニティー向上をめざしたレイアウトにしました。健診機能を拡充し、年々増加する受診者のニーズに合った予防医療の推進に取り組んでいます。

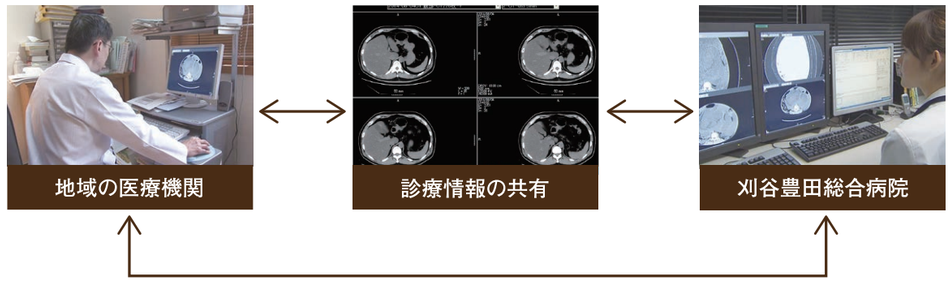
健診センターの特長
- ●ゆったりとした環境
- ●女性専用エリアの設置
- ●コンシェルジュの配置
- ●健診項目の充実
- ●スムーズな動線

多彩な健診メニュー
- ●定期健康診断
- ●半日ドック ●脳ドック ●肺ドック
- ●PETがん検診
- ●乳がん、子宮がん検診
- ●各種オプション検査

地域の医療を守る

地域医療ネットワークシステム（KTメディネット）

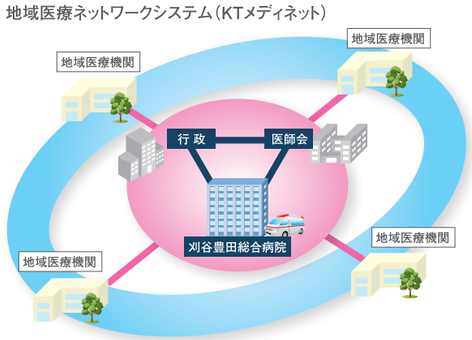
KTメディネットの運用例



地域完結型医療の充実により地域の安心・安全を高める

当院と地域の医療機関で、地域医療ネットワークシステムを構築しています。リアルタイムに情報を共有することで連携の強化と役割分担をはかり、地域で必要とされる医療を切れ目なく提供します。

地域医療ネットワークシステム（KTメディネット）



02 最先端医療

革新的な進化の中で最先端をめざす責任

最先端機器の積極的導入により地域に最先端の医療を提供

県内でも有数の急性期病院として最新鋭の医療機器を積極的に導入しています。
最先端医療の充実により多くの患者さんの治療に役立てています。

内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチXi、X」

前世代のダヴィンチシステムに比べて機能が充実し、より複雑で難しい手術にも対応。低侵襲治療により、早期の社会復帰をサポートします。3台体制で多くの手術が可能となりました。

より良い医療を実現するため技術も機器も最先端をめざします

内視鏡検査装置

最新の内視鏡検査機器を導入。モニターは全て天井から吊り下げ安全面にも配慮。内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は年間約100件実施しています。

血管撮影装置

血管に関連する病気の診断や治療目的で使用する装置で、新たなテクノロジーの搭載により画質の向上、治療・診断のサポート、被ばく線量の低減などが可能になりました。

フルデジタルPET-CT装置

フルデジタル半導体検出器を搭載した次世代型のPET-CT装置です。これまでのPET検査では、10㎜未満の病変の描出が困難でしたが、大幅な分解能向上により5㎜未満の病変検出が可能となりました。

放射線治療装置(トモセラピー)

CT装置と放射線治療システムを統合した装置で、強度変調放射線治療(IMRT)や画像誘導放射線治療(IGRT)を行うことができ、がん組織をより的確に治療することが可能となりました。

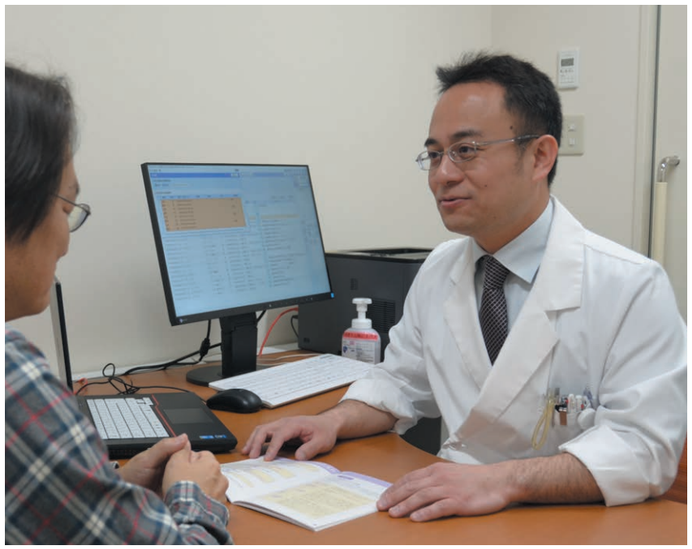
MRI装置(AI技術搭載)

AI技術を搭載したMRI装置は、短時間で高画質な画像を描出することができ、患者さんの負担軽減に貢献しています。

03 部門紹介

多角的な視点で支援する スペシャリストが集結

薬に関わる全てをサポートする



薬剤部

安心して薬物治療を受けていただくために、外来・入院診療、チーム医療、在宅などさまざまな場面で、患者・家族の皆さまをはじめ、他の医療スタッフのサポートをしています。
また、抗がん薬調製支援装置（ロボット）、調剤監査システムなど最新の機器やシステムを導入し、安全な医療品の供給に努めています。

主な業務

●調剤（外来・入院）　●注射薬・薬品供給　●医薬品情報管理　●病棟薬剤業務　●薬剤管理指導
●入退院支援　●在宅訪問薬剤　●外来診療サポート　●医薬品安全管理　●製剤
●治験薬管理（治験事務局）

抗がん薬を自動調製するロボット（DARWIN™-Chemo）を導入

診療部と連携して、それぞれの専門分野から力強く支援します

人体からのメッセージを見逃さない

放射線技術科

CT・MRI・超音波検査などの大型機器や専門装置を用いて、人体からのメッセージを画像化。小さな異変も見逃しません。
全身のがん検査を一度に行うことが可能なフルデジタルPET-CT装置はこれまでの装置と比べ、微小な病変の描出能が飛躍的に向上し、がん診療に大きく貢献しています。
AI技術を搭載したMRI装置は、短時間で高画質な画像を描出することができ、患者さんの負担軽減にもつながります。

主な業務

●PET-CT検査　●一般撮影　●CT検査　●X線TV撮影　●MRI検査　●アイソトープ検査
●パントモ撮影・セファロ撮影　●乳腺検査室　●血管撮影　●骨塩定量検査　●超音波検査
●在宅撮影　●放射線治療

AI 技術搭載 MRI 装置

正確かつ迅速に検査データを提供

臨床検査・病理技術科

血液などを検査する検体検査や、心電図などの生理検査を担当。技術・機器・システムを駆使して正確かつ迅速に検査データを提供することで、診断や治療方針の決定を支援します。

主な業務

●生化学検査　●血液検査　●免疫血清検査　●遺伝子検査　●一般検査
●細菌検査　●輸血検査　●病理検査　●生理検査　●救急外来支援

最新の分析機器を導入

ISO15189認定取得
品質マネジメントシステムと技術的要求事項から構成された臨床検査室の国際基準。

専門性を生かした チーム医療の提供

患者さん一人一人に合わせた栄養療法の提供

栄養科

栄養療法や栄養指導を行い、食事を通した疾病の治療や予防に努めています。栄養相談では、患者さん一人一人のライフスタイルに配慮した献立・調理法などを提示。患者さんの立場に立った具体的な支援をしています。

主な業務
- ●病態に合わせた献立の作成
- ●衛生的で安心な食事の提供
- ●栄養スクリーニングとアセスメントの実施
- ●集団・個別栄養指導の実施
- ●各種料理教室の開催
- ●チーム医療への参画

地域の中で安心して生活するために

リハビリ室

リハビリテーション科

医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がチームとなり、小児から高齢者までその人らしい生活を地域で送ることができるよう支援や治療を行います。ロボット治療導入や院内・外を問わず多職種連携等にも取り組み、質の高いリハビリ提供を目指しています。

主な業務
- ●急性期入院リハビリ
- ●回復期入院リハビリ
- ●在宅訪問リハビリ
- ●外来リハビリ
- ●嚥下回診

回復期リハビリテーション病棟

高度医療機器を総合的に管理

臨床工学科

生命維持装置をはじめとする医療機器の操作・保守管理を行い、院内の機器を総合的に管理して安心・安全な医療を支えます。また、高度な医療機器を扱う手術室・ICU/救命救急センター・内視鏡センターなどにスタッフを配置し、多職種と連携して質の高い医療を目指して取り組んでいます。

主な管理機器
- ●血液浄化装置
- ●高気圧酸素治療装置
- ●人工心肺/補助循環装置（ECMO、IMPELLAなど）
- ●アブレーション関連装置
- ●ペースメーカ
- ●ICD（植込み型除細動器）

高気圧酸素治療室

療養中・退院後の生活をサポート

総合相談室（医療福祉・患者相談）

病気やけがによって生じる不安・心配・困りごとについて、看護師や医療ソーシャルワーカーなどの多職種が患者・家族の皆さまのお話を伺い、専門職の立場から一緒に考え解決の支援をしています。

主な業務
- ●在宅介護や施設入所に関する相談
- ●社会福祉制度の紹介・活用の助言
- ●療養中の経済面や家族の悩みの相談
- ●治療後の社会復帰に関する相談
- ●治療や療養上の総合的な相談
- ●その他のご相談、ご意見や苦情など どの窓口に相談したらよいかわからないことなど

04 教育・研修

医療のプロフェッショナルを育てる

医療安全に、環境整備と安全教育の両面から取り組んでいます

医療事故、院内感染の予防

医療の安全は人の生命・健康に関わる分野だけに、より徹底する必要があります。平成13年に病院長直属の「安全環境管理室」を設置し、医療事故の予防や院内感染防止、職員安全衛生など、病院を挙げて医療安全活動に取り組んでいます。

安全環境管理室

医療事故・院内感染の未然防止、発生時の適切な対応と再発防止に取り組んでいます。
全職員に医療安全教育・感染管理教育を実施し、患者さんと一緒に病院全体で「安全な医療」が行われる風土を醸成しています。

医療安全・感染管理に関する活動
- ●職員に対する安全教育
- ●SMT（医療安全）ワーキング活動／医療安全ラウンド
- ●インシデント・アクシデント報告などの収集
- ●医療安全対策に関する検討
- ●感染制御チームによる活動／院内ラウンド
- ●新興感染症の発生を想定した訓練
- ●抗菌薬適正使用に向けた支援
- ●地域の医療機関と連携した活動

高度な知識・技能を持ち、患者・家族の皆さまの思いに応えられる医療従事者を育てるため、きめ細やかな育成制度を整備しています

教育研修センター

豊田会の理念「保健・医療・福祉分野で社会に貢献します」を実現する基盤は「人材」であると考えています。その実現に向けて、豊田会マインド−5つのC−を備えた人材を育成します。「後進の育成は私たちの手で」という思いを大切にし、豊田会マインドの継承を目指します。
また、特定看護師の育成にも力を入れており、地域医療および高度医療の現場において、医療安全に配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識・技術を教育し、社会に貢献できる有能な看護師を育成します。働きながら受講できるカリキュラム、多職種による専門性のある教育体制、メンター配置による手厚いフォローアップが特色です。

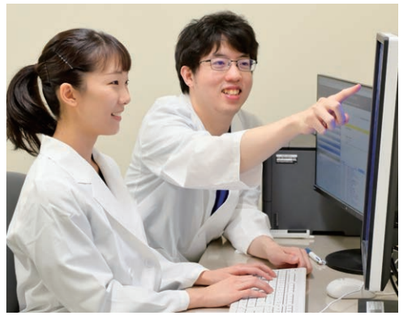
豊田会マインド −5つのC−
- Care
  やさしさとおもいやりと笑顔で寄りそう職員
- Communication
  ともに助けあい協働する職員
- Challenge
  変化をおそれず挑戦する職員
- Creative
  自由な発想で主体的に行動する職員
- Compliance
  道徳心と倫理観をもち社会に貢献する職員

■豊田会教育の特徴
- ・経年別研修は、教育委員会ワーキンググループが内製化し、講師を務めています
- ・グループワークを中心に組み立てた研修は、他職種の専門的視点を知る機会となりチーム医療の礎を築きます

臨床研修センター

最新の医療機器を駆使する優秀な指導医の下で豊富な症例を経験しながら学べる環境です。ランチタイムセミナー・ERカンファレンス・PBL（Problem Based Learning）などの学習活動や充実した研修プログラムを提供し、当院独自の研修評価システムと実地研修（OJT）により技能獲得をサポートします。
また、海外研修の一環として医学教育で広く知られているトーマス・ジェファーソン大学と医学教育分野で技術指導提携をしており、希望者には自己研鑽の機会を提供しています。

■卒後臨床研修評価機構（JCEP）による認定
当院の臨床研修の現状を客観的に把握し、プログラムの検証・改善に取り組んでいます。



看護部

新人からスペシャリストになるまで、段階的に成長できるよう到達目標を意識した取り組みを実施しています。さらに、専門・認定看護師教育課程受講などの長期研修でキャリアアップを支援します。
看護ビジョン「愛ある看護を実践する」を実現するために、私たちは責任と誇りを持ち、仲間を思い、いきいきと働き続けられる環境を醸成していきます。

看護部が目指す看護師像は「確かな技術」「専門的知識」「共感できる心」の3つを備えている看護師です。このような人材を育成するために、毎年30種類以上の研修を実施しています。

「看護職が働き続けられる職場作り」を目指して取り組んでいます。

■看護師教育制度
目指すべき看護師像と段階ごとの育成過程を明確に示し、長期的な視点に立った看護師育成をはかっています。

05 外来・入院

やさしく温かく 信頼される環境

●診療科目
内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科（30科目）

●診療圏
刈谷市・高浜市・知立市・東浦町・大府市および、安城市・豊田市の一部

外　来　明るく、ゆったりとした空間

紹介専門型外来として、地域医療機関と連携して専門診療・救急医療を提供します。

エントランス

外来ロビー

売店

中庭

レストラン

快適な空間で治療に専念できるよう環境づくりに努めています

入　院　光と風を感じる空間

厚生労働省よりDPC病院Ⅱ群の指定を受けた大学病院に準ずる病院です。

4人病室

個室病室

周産期母子医療センター

小児病棟ラウンジ

屋上庭園

その他　さまざまな情報を発信

地域の中核病院として、地域の期待に応えます。

市民公開講座

医療安全推進週間

●患者さん・地域の方向け
市民公開講座・がんサロン・医療安全推進週間など

●医療従事者向け
刈谷連携キャンパス（KRC）・緩和ケア研修会など

●その他　総合防災訓練など

総合防災訓練

06 関連・附帯施設

地域の皆さまの健やかな毎日のために

刈谷豊田東病院

急性期治療後のリハビリや療養が必要な患者さんに、多職種が連携して継続的な医療と良質なケアを提供します。また、退院後の在宅支援においても訪問看護や居宅介護支援を通じてシームレスな医療・介護を提供します。
透析センターでは高性能な透析機器、腹膜透析外来および専門病床を整備し、患者さんの状態とニーズに合わせ、最適な治療を行います。

●療養病床、障害者病床、地域包括ケア病床、透析センター、内科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、通所リハビリ

刈谷訪問看護ステーション

刈谷市、知立市を中心に、在宅療養される方のご自宅に専任の看護師が伺い、安心して療養していただけるよう支援します。24時間体制で利用者の方からのSOSにお応えします。

刈谷居宅介護支援事業所

要介護1～5と認定された方が、介護サービスを利用する際のケアプランを作成します。また、介護サービスの利用相談などもお受けしています。

高浜豊田病院

医療と介護の連携拠点としての機能、在宅復帰に向けた回復機能および在宅医療の支援機能などの役割を担い、地域医療を支えます。
透析センターでは先進機器と専門スタッフを配置し、慢性腎臓病患者さんに透析治療を提供します。また、健診センターはエリアを拡充して女性専用エリアを設け、健康増進および疾病予防に努めています。

●地域包括ケア病床、障害者病床、療養病床、健診センター、透析センター、内科、外科、整形外科、眼科

高浜訪問看護ステーション

高浜市を中心に、在宅療養される方のご自宅に専任の看護師が伺い、安心して療養生活が送れるよう支援します。24時間体制で利用者の方からのSOSにお応えします。

介護老人保健施設 ハビリス　一ツ木

利用者の皆さまに、安心とくつろぎの環境を提供します。一人一人に合わせたレクリエーションやリハビリをはじめ、刈谷豊田総合病院との強い連携で体調変化にも迅速に対応できることが特長です。

●ロングステイ、ショートステイ、デイケア

刈谷中部地域包括支援センター

高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活できるようサポートします。刈谷市中部地区（住吉小学校区・小高原小学校区・日高小学校区）にお住いの方を対象に運営している「身近な相談窓口」です。業務は、刈谷市からの委託事業です。

刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センター

地域の医療・介護関係者、地域包括支援センターなどから、在宅医療・介護連携に関する相談をお受けしています。